

セキュリティエンジニア入門科

コース概要

本コースは『セキュリティエンジニアを目指すための最初の一步』として、ネットワーク基礎学習とCCNA取得が中心のコースです。 ※本コースは対面授業のみで、オンラインはございません。

●コースの内容

IT未経験者も含めた幅広い受講者を対象に、まずセキュリティを学ぶ前提となるネットワークの基礎を段階的に習得し、資格取得を目指します。通信の仕組みや構成を理解した上で、ゼロトラスト時代でも重要な境界セキュリティの代表的な機器であるファイアウォールの設定・動作を、実機演習を通じて実践的に学びます。基礎から実践まで無理なく学べ、資格取得や現場での即戦力化にも大いに役立つ内容です。

●目標とする人材像

セキュリティとネットワークの基礎を習得し、企業ネットワークの防御や運用に携わるインフラエンジニアや社内SE、ならびにセキュリティやネットワークに知見のあるICT営業として活躍できる人材。

コース概要

●修了後の関連職種

ネットワークエンジニア、セキュリティエンジニア、情報システムエンジニア、社内システムエンジニア、ICT営業

●受験できる関連資格(受験料等は別途自己負担となります)

- ①Cisco社認定CCNA
- ②ネットワークスペシャリスト試験
- ③情報処理安全確保支援士

※①については本コースに加えて自己学習が必要です。

②③の資格については本コースで内容を網羅するものではありません。

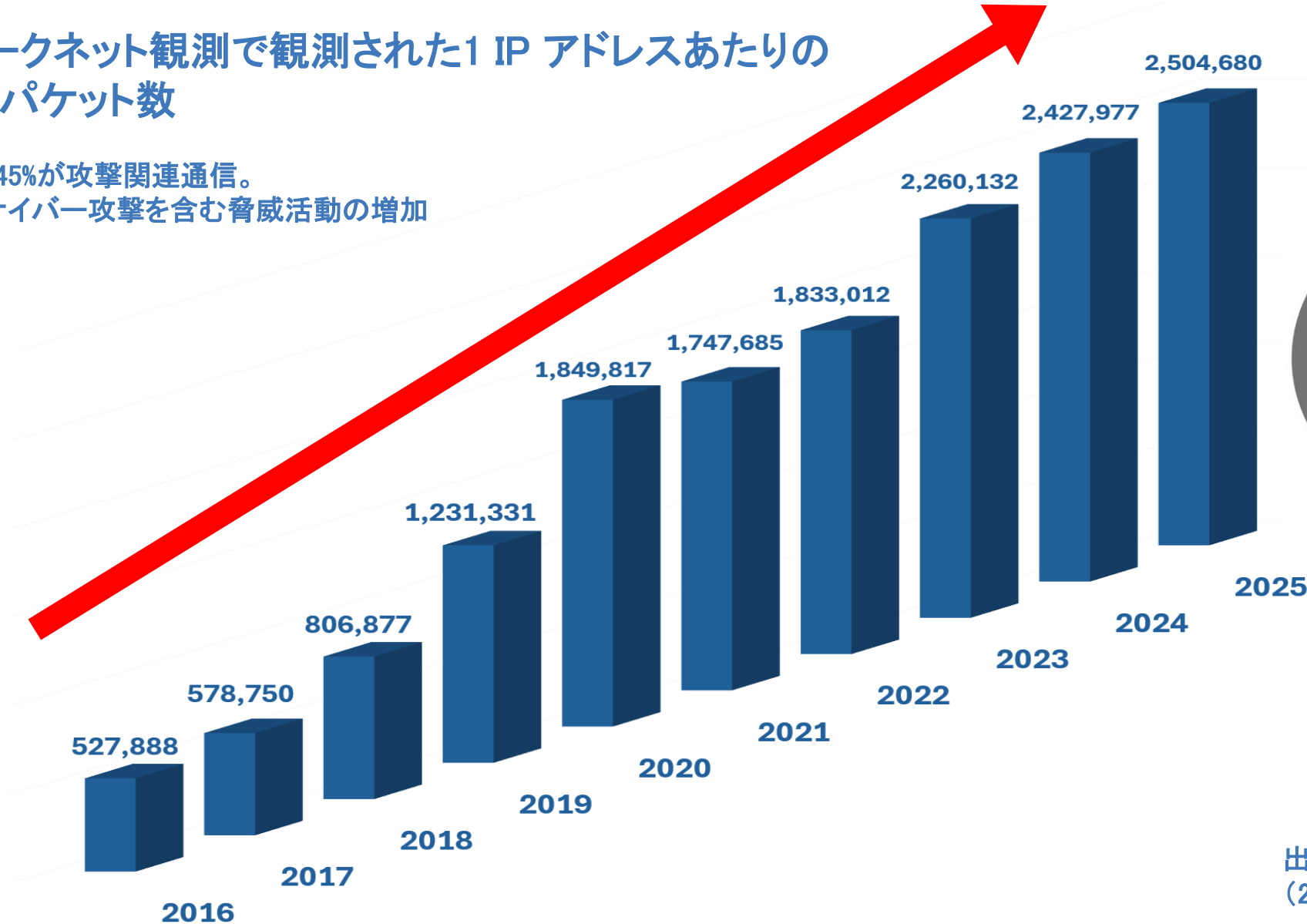
本日は以下の順でコースを説明いたします。



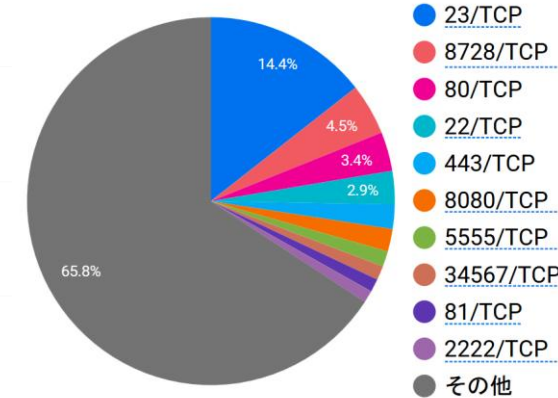
サイバーセキュリティの必要性

NICTER ダークネット観測で観測された1 IP アドレスあたりの年間総観測パケット数

※総観測量の約45%が攻撃関連通信。
総量の増加=サイバー攻撃を含む脅威活動の増加



宛先ポート別のパケットの割合



出典: NICTER 観測レポート 2025
(2026年2月5日公開)

サイバーセキュリティの必要性

日本政府はサイバーセキュリティを国家の経済安全保障における最重要課題として位置づけ、かつてないスピードで法整備と規制強化を推進

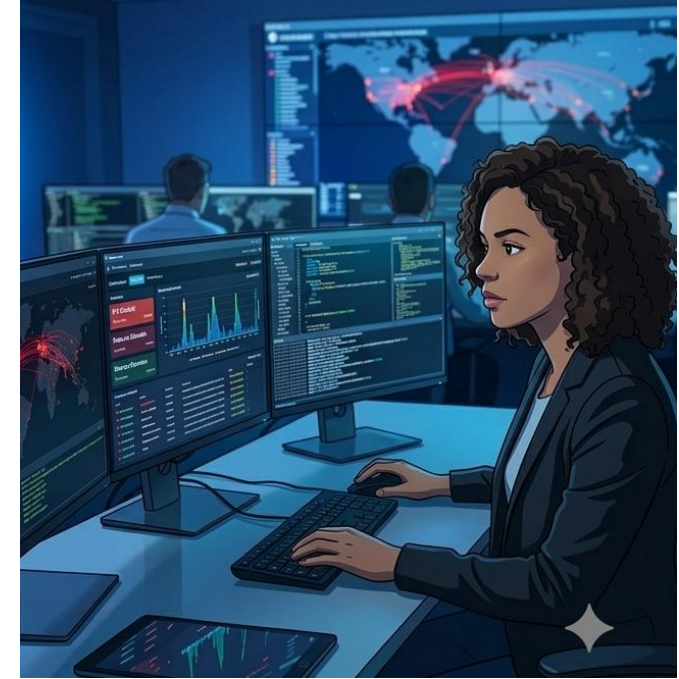
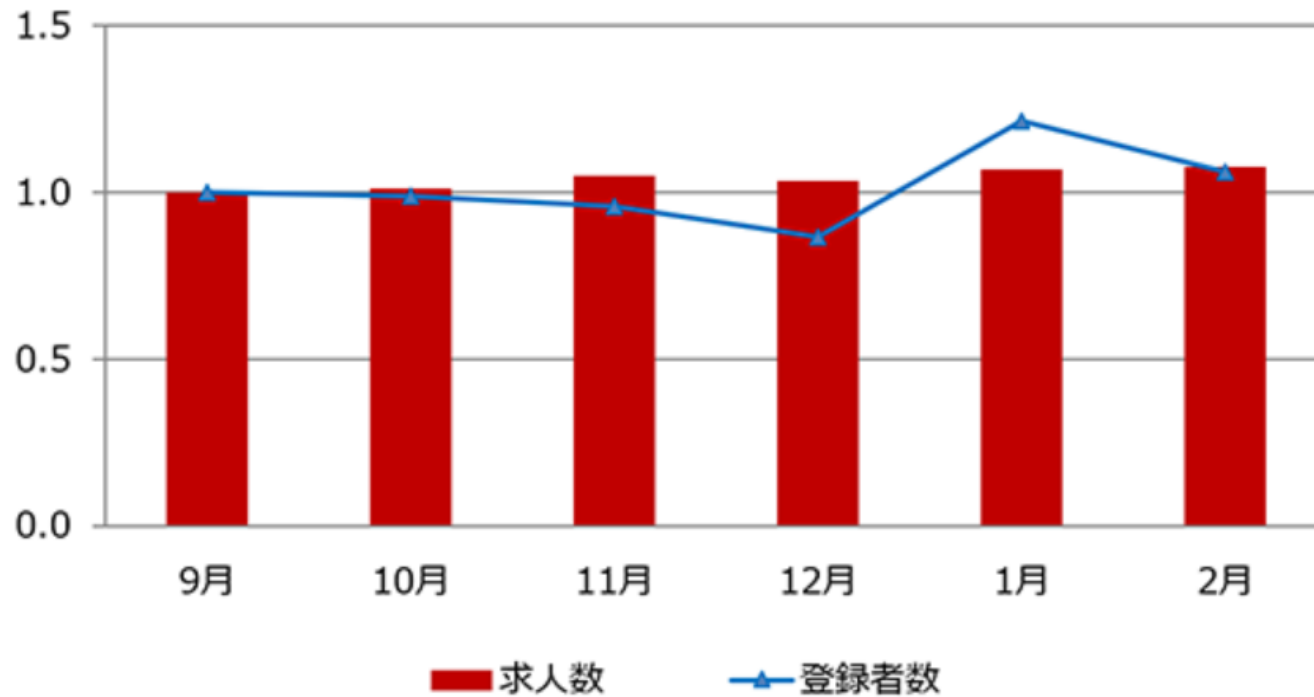
重要経済安保情報保護活用法 (2025年5月施行)

国の安全保障に関わる「経済や技術の秘密情報」を保護し、国が認めた信頼できる民間人(企業や研究者)だけがそれを使ってビジネスや研究をできるようにする法律

サイバー対処能力強化法及び同整備法 (2026年から2027年にかけて段階的に施行予定)

サイバー攻撃に対して、国が「やられてから対応する」のをやめ、先回りして攻撃を防ぐ「能動的サイバー防御(アクティブ・サイバー・ディフェンス)」を導入するための法律など

セキュリティエンジニアの求人動向



対象：2025年9月～2026年2月にdodaにいただいた求人情数と登録者数

※9月の数値を「1」とした場合の変化を表しています。

「2025年12月～2026年2月の求人数は、前3カ月（2025年9月～11月）対比で、104%と増加傾向」

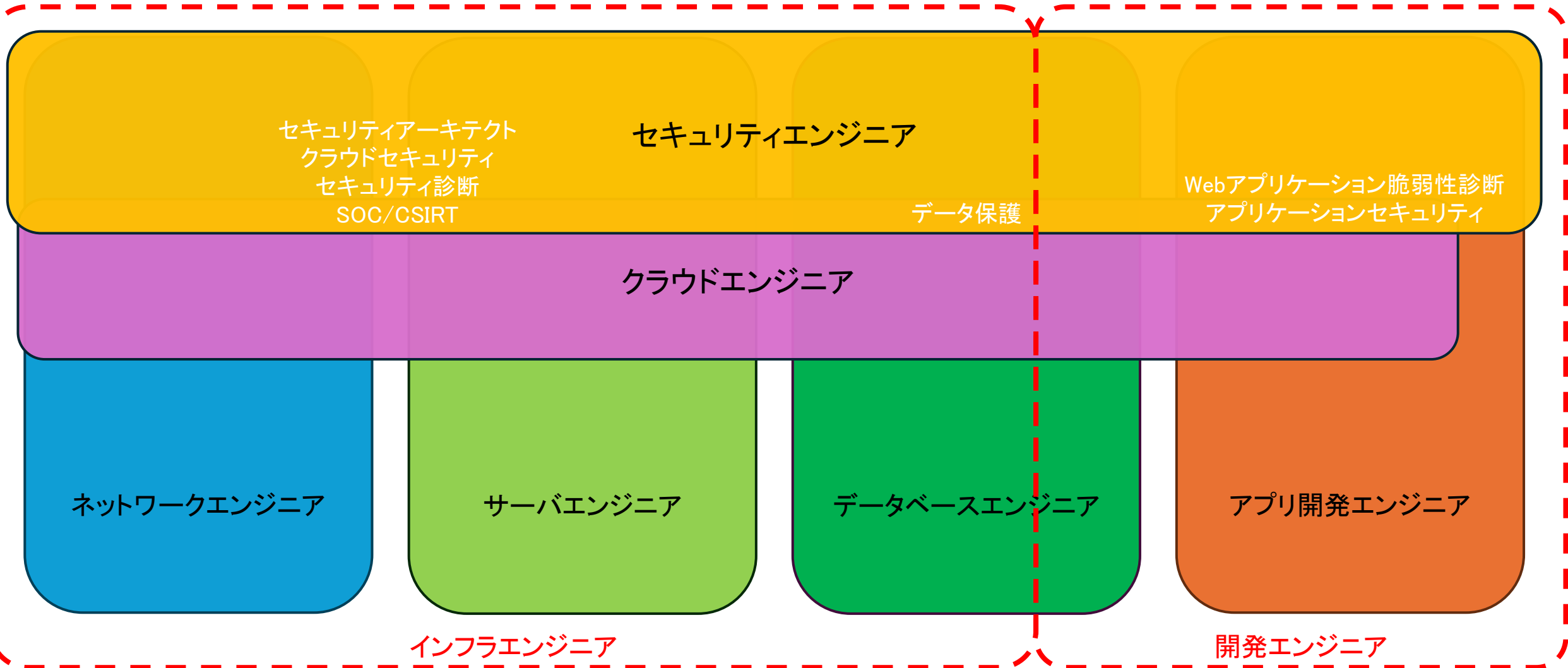
引用・出典：doda職種別マーケットレポート（2026年5月閲覧）

セキュリティエンジニアの業務

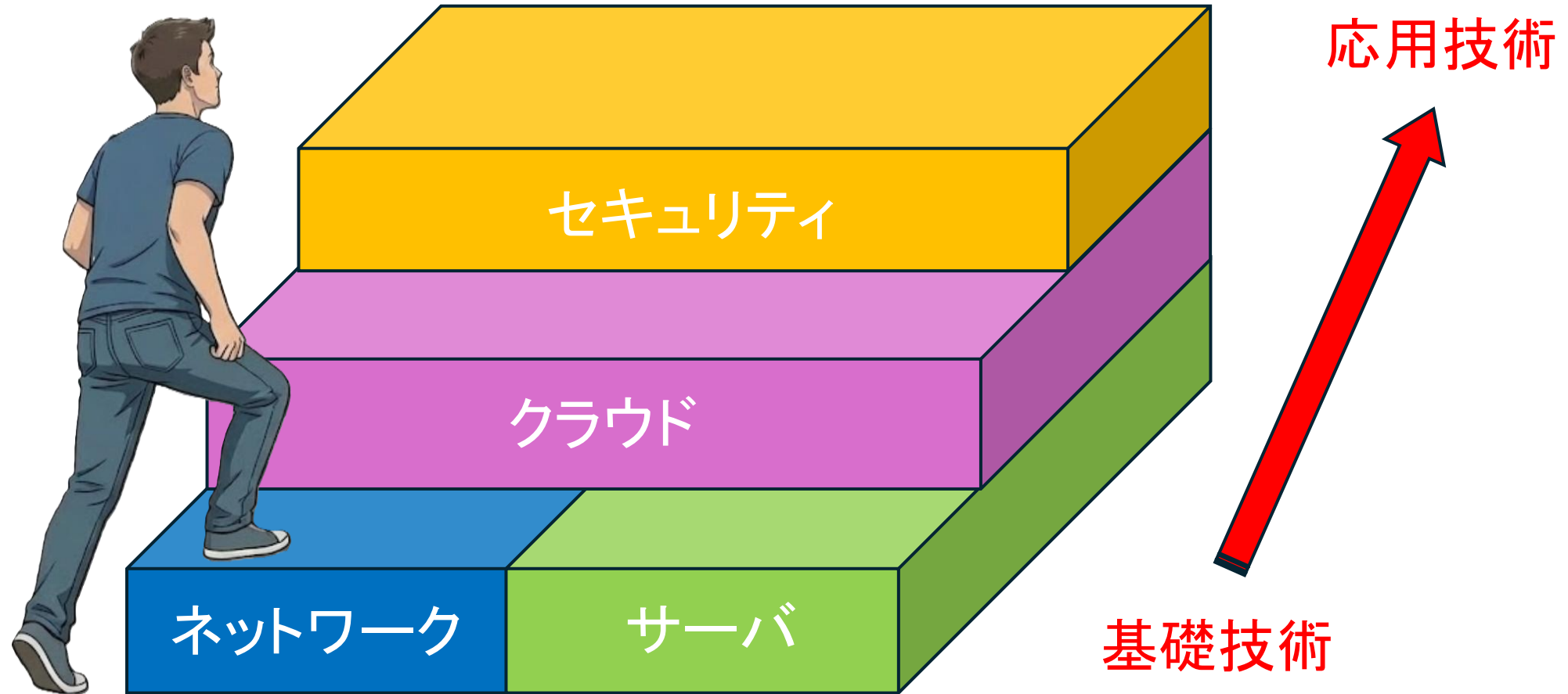
職種・役割	主な業務内容
コンサルタント・企画	企業のセキュリティ戦略立案、リスク評価、ルール(ポリシー)の策定。
アーキテクト(設計・構築)	安全なネットワークやクラウド基盤の設計。セキュリティ製品の導入。
ペンテスター(脆弱性診断)	ハッカーと同じ視点でシステムを疑似攻撃し、弱点(脆弱性)を発見・報告する。
CSIRT(インシデント対応)	マルウェア感染や情報漏えいが発生した際の初動対応、被害の封じ込め、原因究明を行う。
SOC(セキュリティ監視)	ネットワークやサーバの通信を24時間体制で監視し、サイバー攻撃を早期検知する。

エンジニアのマッピング

セキュリティエンジニアは他の領域の知識を土台に成り立っています。



セキュリティエンジニアへのキャリアアップ



未経験の方がいきなりセキュリティエンジニアになるのは、人体の構造を知らないまま外科医になるようなものです。セキュリティを理解するにはベースとなるネットワークやサーバといった基礎知識が必要不可欠です。

本コースは、まず**ネットワークの基礎**知識を習得し、就職を有利にするため**資格取得(CCNA)**を目指します。

CCNAとは

Cisco Certified Network Associateの略
 ネットワーク機器(ルーターやスイッチと呼ばれるもの)の
 世界的なシェアを持つ企業: CiscoSystems社の資格です。



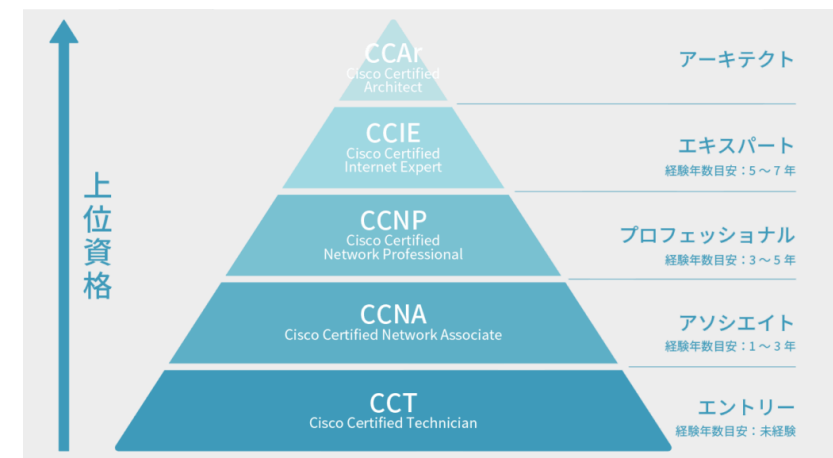
- ✓ ネットワークエンジニアになるための登竜門の資格
- ✓ 受験料: 46,860円(税込) ※2026年5月時点

1. 圧倒的なシェア

2. 実務に直結する知識



3. 未経験からの就職・転職の武器


4. クラウド時代でも必須



CCNAの位置づけ

インフラエンジニアおすすめ資格:ITSS準拠 難易度マップ

	ネットワーク系	サーバー系	AWSクラウド系	データベース系	国家資格系	その他
ITSS レベル4	CCIE		AWS SAP	OracleMaster Platinum	安全確保支援士 ネットワーク スペシャリスト DBスペシャリスト	Cloud Architect
ITSS レベル3	CCNP	LPIC/LinuC-3		OracleMaster Gold	応用情報 技術者	PMP Azure-104
ITSS レベル2	CCNA 	LPIC/LinuC-2 	AWS SAA 	OracleMaster Silver	基本情報 技術者	Cloud Engineer
ITSS レベル1		LPIC/LinuC-1 	クラウドプラク ティショナー		ITパスポート	ITIL Foundation Python3 エンジニア 認定 

 マークは未経験・初学者におすすめの資格です

レベル	位置づけ	イメージ
レベル7	世界レベルの第一人者	国際的権威
レベル6	国内のトップクラス	業界で名前が知られる
レベル5	社内の第一人者	専門家・スペシャリスト
レベル4	業務をリード、後進指導	中堅・チームリーダー
レベル3	独力で業務遂行	一人前
レベル2	上位者の指導で業務遂行	若手・2~3年目
レベル1	最低限の基礎知識	新人・入社直後

ITSS(ITスキル標準)とは

経済産業省が策定した、IT関連の職種・スキルを体系的に整理した「ものさし」
 2002年に作られ、IPA(情報処理推進機構)が管理

資格を取得する価値について

Q. CCNA資格を取得すれば、必ず就職できますか？

A. いいえ、必ず就職できる保証はありません。

ですが、通過率は上がります。応募先からは「ネットワークの基礎知識」、「学習する熱意」を持っている人として見ていただけます。

Q. CCNAは絶対に持っていないといけませんか？

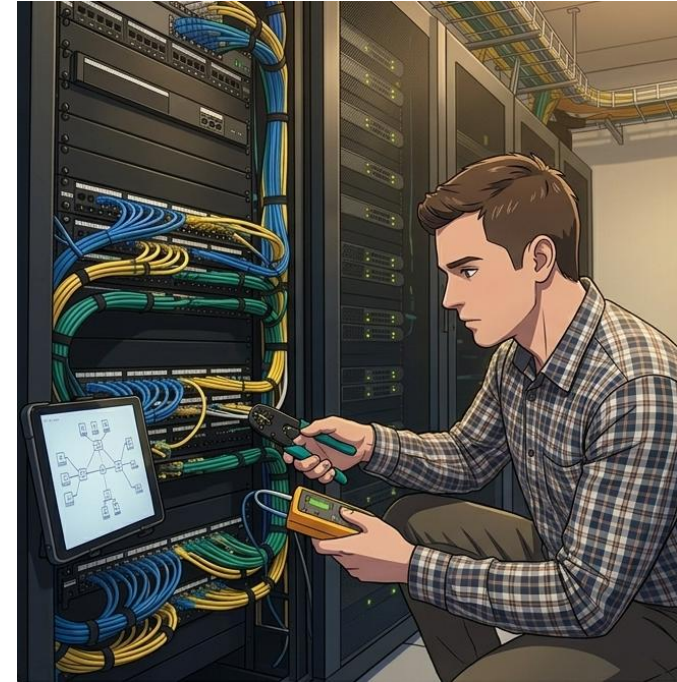
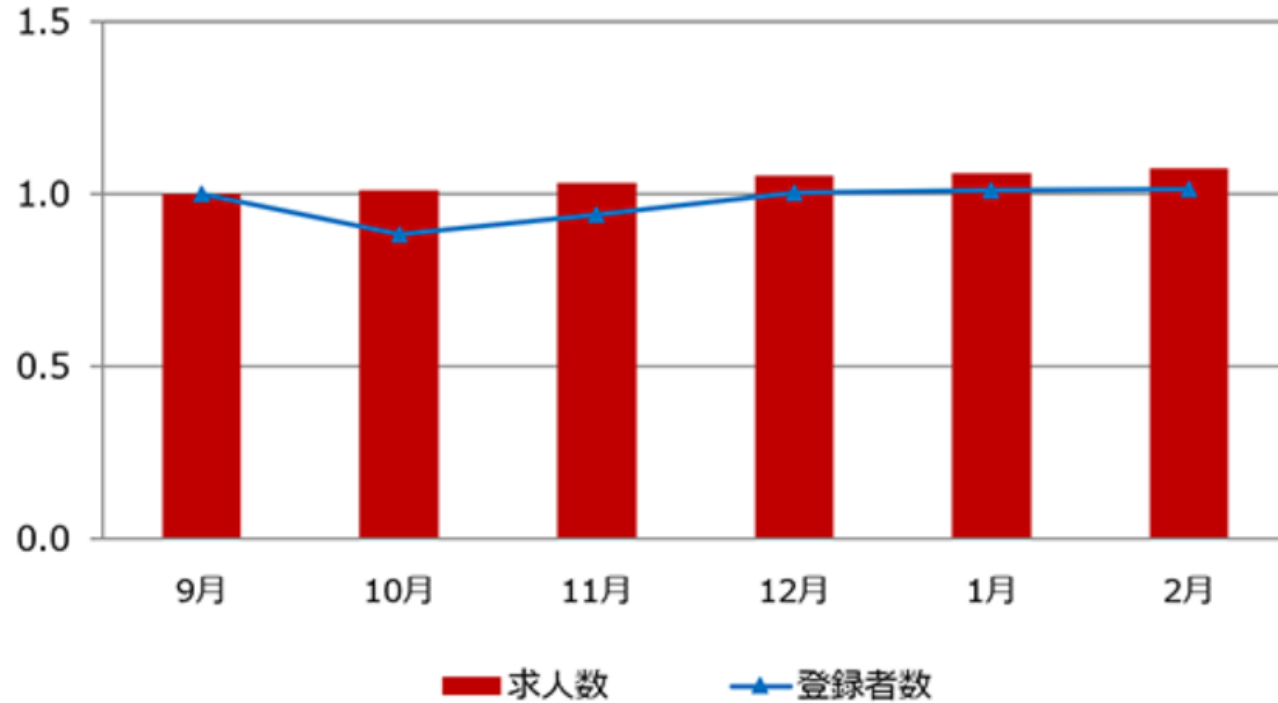
A. いいえ、資格はなくても就職は可能です。

またネットワークやサーバなど実務経験で能力を証明できる方は資格よりも実務経験を見られますので絶対に必要ではありません。より高度な資格(情報処理安全確保支援士、ネスぺなど)を取得する方が良かったと思います。

Q. CCNA資格の学習は、実際の業務に役立ちますか？

A. はい、役立ちます。設計書を読んで意図を理解できる、トラブル時に「これはどこの問題か」を切り分けられる、他のエンジニアと共通言語で会話できるなど。ただし資格は入口の証明であって、そこから先は実機経験、トラブル対応経験、設計経験を積まないで頭打ちになります。

ネットワークエンジニアの求人動向



対象：2025年9月～2026年2月にdodaにいただいた求人件数と登録者数
 ※9月の数値を「1」とした場合の変化を表しています。

「2025年12月～2026年2月の求人数は、前3カ月（2025年9月～11月）対比で、105%と増加」

引用・出典：doda職種別マーケットレポート（2026年5月閲覧）

人それぞれの戦略例 (IT業界未経験者)

IT業界	年代	戦略
未経験	20代	<p>修了後に向けてサーバ系基礎の独学も少しずつ開始。実機演習では手順の暗記でなく仕組みの理解を重視し、ファイアウォール実習ではログの読み方を意識的に身につける。</p>
	30代	<p>余力でセキュリティ入門書の通読も並行。前職スキルの棚卸しを行い、IT・セキュリティとの接点を言語化。「自走できる人材」と示せる学習姿勢と実績をカリキュラム中に作る。</p>
	40代以上	<p>前職の業界知識や経験を整理。情報管理や社内ルール作りなど制度面の知識も少し補う。技術一本でなく「管理・監査・社内SE」など現実的な方向性を意識して学ぶ。</p>

※あくまでも一例です。

人それぞれの戦略例(IT業界経験者)

IT業界	年代	戦略
経験者 (インフラエンジニア以外)	20代	前職分野に応じた学習を追加(開発系ならWeb脆弱性、運用系ならサーバ基礎)。ファイアウォール実習では前職業務と紐づけて理解し、「掛け算スキル」の方向性を固める。
	30代	現職スキル×セキュリティの組み合わせを具体化。自分の強みが生きる領域(開発系・PM系・業務系)を1つ決め、それに沿った追加学習を並行。社内異動の可能性も視野に情報収集する。
	40代以上	CCNAは技術理解の土台と位置づけ、セキュリティの管理・監査系知識の独学も並行。前職のマネジメント経験を棚卸し、「技術が分かる管理側・コンサル側」としての自分の売りを言語化しておく。

※あくまでも一例です。

カリキュラムの概要

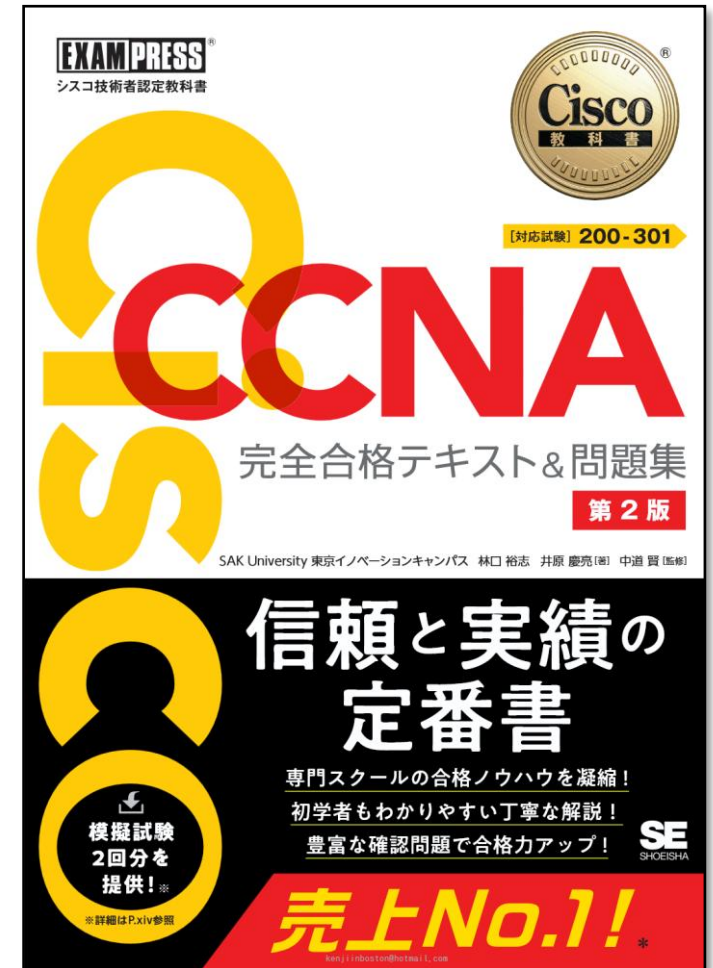
学科	内容	時間(h)
ネットワーク基礎	参考書をベースにネットワークの知識を習得	129
ファイアウォール基礎	講師作成資料をベースにファイアウォールに関する基礎を習得	12
実 技	内容	時間(h)
ネットワーク応用	実機やシミュレータソフトを使用し、ネットワーク機器の操作や設定方法を習得	129
ファイアウォール実習	仮想ファイアウォールを使用し、機器の操作や設定方法を習得	30
就職支援	内容	時間(h)
就職支援	ジョブ・カードの作成、経歴書指導、面接指導、就活アプローチ対策講座	30

授業時間: 9:20~15:20

合計: 330時間 3ヶ月間

ネットワークのセキュリティを理解するためには、ネットワークの基本構成や通信の仕組みといった基礎知識が不可欠であることから、まずネットワーク技術の基礎を習得します。その上で、境界セキュリティの中核を担うファイアウォールの役割や設定、運用方法を学び、現場で活用できるセキュリティ技術の習得を目指します。

参考テキスト ※訓練校で用意



学習の進め方

- 参考書をベースに進めます。分かりにくい部分は動画などを使用して理解を深めます。
→ネットワークはイメージが大切です。(ネットワークを現実世界の何かに例えるなど)
- 実機やシミュレータを使用し、より実務に近い環境を経験します。
→とにかく手を動かし、実体験をすることで単純な記憶から身体で覚える技能へ変化させます。
- 定期的な理解度テストを行い、記憶の定着を促します。
→ベーシックな試験程、暗記する要素も多いです。
特に3～5文字の専門用語の略語が多く覚えるのに苦労します。

重要

- 授業以外の時間で復習や弱点を克服するための自己学習を行うことが資格取得の第一歩です。
→試験の難易度は高いです。簡単に合格できる試験ではありません。
ただし、しっかり学習すれば十分合格可能なレベルです。

おすすめの受講対象者

- ✓ IT業界未経験者
- ✓ IT業界経験者（経験が浅い方）
- ✓ IT業界経験者（インフラ経験がない方）

IT業界経験者かつネットワーク経験のある方は内容としては、かなり基礎的なものばかりになりますので物足りなくなる可能性があります。

受講時の注意点

様々な背景の方が受講されます。IT業界の全くの未経験の方からIT業界経験者、年齢も様々となります。

本コースは、冒頭でも説明した通り「セキュリティを学ぶ前提となるネットワークの基礎を段階的に習得し、資格取得(CCNA)を目指す」ことを目的とした未経験者、初学者向けのコースとして期間内にスケジュール通り学習していきます。

そのため講義のペースが人それぞれのバックグラウンドによって、早く感じたり、遅く感じることもあると思います。

その点、ご理解いただけますようお願いいたします。

学習環境

教室

本教室(説明会実施)で行います。
 長机に2名座って頂き、画面は1台を2名で共有します。

機材

右の図にあるルーター/スイッチは生徒1名につき
 1台ずつ割り当て、順番待ちになる事もなく、
 必要なタイミングで都度活用出来ます。

ファイアウォールは仮想環境をそれぞれ1台用意します。
 (物理的な機材の割り当てはありません)

生徒1名に1台ずつ
 ルーター



スイッチ



仮想環境のみ

ファイアウォール



受講生サポートサイト

※画面は仮の画面です。

トップ 差分 一覧 ソース 検索 ヘルプ PDF RSS ログイン

<<	2026-5							>>
日	月	火	水	木	金	土		
					1	2		
3	4	5	6	7	8	9		
10	11	12	13	14	15	16		
17	18	19	20	21	22	23		
24	25	26	27	28	29	30		
31								

キーワード AND
 OR ページ内容も含める

A B C D

時限	時間
1時限	09:20~10:05
2時限	10:15~11:20
3時限	11:10~11:55
昼休憩	11:55~12:45
4時限	12:45~13:30
5時限	13:40~14:25
6時限	14:35~15:20
最終退出	~16:30

FrontPage



セキュリティエンジニア入門科



[お知らせ](#)
特にありません。

[教室利用について](#)

授業に連動した専用サポートサイトでは、連絡事項や補足資料、課題などを自宅から確認できます。復習やオンライン受講にも便利で、毎回受講生にも好評を頂いています。

また、卒業後も参照可能です。

教室周辺の環境

教室は新宿駅から近く、コンビニ、飲食店などが軒を連ねています。

受講生が昼食を食べる店に困ることはないですが、お昼の時間帯は込み合うので昼休憩の時間を少し早めています。(昼休憩:11時55分～12時45分)

昼食は教室で食べる事ができます、飲み物用の冷蔵庫もあり、電子レンジが使えます。

※利用ルールは別途案内します

